

東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

2月	午前 ①10:00~ ②11:15~	午後 ③13:15~ ④14:30~
1日	紙芝居『菜の花物語』(南相馬市)	当時11歳にとっての東日本大震災(富岡町)
2月	震災発生から全町避難を振り返って(富岡町)	震災と私～その時、私の周りで起きたこと～(双葉町)
3火	休館日	
4水	東日本大震災と避難生活の実態(浪江町)	東日本大震災～あの日から14年が過ぎて(南相馬市)
5木	福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です)	長い避難生活を支えた励ましの数々(富岡町)
6金	あの日の震災から学んだこと(富岡町)	震災・原発事故を語る(双葉町)
7土	防災意識を高めよう。みんなと、自分を!(南相馬市)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について(いわき市)
8日	ふるさとで暮らす(大熊町)	浪江に生きる記憶～あの日から始まった「ふるさと」との対話(浪江町)
9月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」(相馬市)	『残照』～震災の記憶～(相馬市)
10火	休館日	
11水	震災経験とその後の活動(南相馬市)	置き去りにされた動物(浪江町)
12木	原発事故が学校にもたらしたもの(南相馬市)	東日本大震災から考える防災と社会課題(大熊町)
13金	生きのびるために(双葉町)	「当たり前」はない(大熊町)
14土	震災・避難・現在の歩み(富岡町)	あの日を忘れない それが備えの第一歩～震災の経験から伝えたいこと～(南相馬市)
15日	生きのびるために(双葉町)	東日本大震災 娘との日々(富岡町)
16月	伝統文化存続の危機と伝承(双葉町)	原発から25キロに住む1人として(南相馬市)
17火	休館日	
18水	震災時の体験と伝えたいこと(大熊町)	紙芝居で伝えたいこと(浪江町)
19木	東日本大震災と避難生活の実態(浪江町)	双葉の子どもたち(双葉町)
20金	13:15～震災後の2日間とその後(大熊町) 14:30～震災・原発事故から復興へ(大熊町)	10:00～震災後の2日間とその後(大熊町) 11:15～震災・原発事故から復興へ(大熊町)
21土	震災経験とその後の活動(南相馬市)	あの日を忘れない それが備えの第一歩～震災の経験から伝えたいこと～(南相馬市)
22日	防災意識を高めよう。みんなと、自分を!(南相馬市)	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える(富岡町)
23月	伝統文化存続の危機と伝承(双葉町)	『残照』～震災の記憶～(相馬市)
24火	休館日	
25水	臨時休館(2/25～2/27)	
26木	臨時休館(2/25～2/27)	
27金	臨時休館(2/25～2/27)	
28土	原発から25キロに住む1人として(南相馬市)	調整中

※タイトル横の()内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2026/2/12現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。